

# 県酪だより

K E N R A K U D A Y O R I

2019

2

vol.254

## 平成30年度ひまわりコンクール審査会開催

県酪婦人部やまびこ会では畜舎環境美化運動を行っており、毎年その成果を披露する機会として写真によるひまわりコンクールを行っており、今年も去る一月三十日(水)県酪農協本所会議室に於いて、平成三十年度のひまわりコンクールの審査会を開催いたしました。畜舎周辺の美化を目指した「畜舎環境の部」と「一般花壇の部」、乳牛のいる風景や酪農作業風景が鮮明に伝わる「酪農生活の部」の三部門の



審査をいたしました。今年度は、三部門で五十五点の作品が出品されました。忙しい毎日の中で、花の手入れを続けていくことは大変な時もありますが、綺麗に咲く花々に心が癒され、更に牛のストレスも和らぎ健康管理にもつながっていると思えます。

畜舎周辺を整備し牧場を花いっぱいにする取り組みにより、酪農のイメージアップを図り、牛乳のPR活動の際にはコンクール写真も併せて紹介していきたいと思えます。

今回も最優秀賞と、ひまわりの花で環境美化に努めている優秀な作品には、ひまわり賞を贈ることになりました。

審査の結果入賞者は次のとおりです。



### ●畜舎環境の部●

	所属	氏名
最優秀賞	県中	福田 祐子さん
ひまわり賞	県中	遠藤 洋子さん

### ●一般花壇の部●

	所属	氏名
最優秀賞	県中	佐藤 恵美さん
ひまわり賞	県中	橋本 節子さん

### ●酪農生活の部●

	所属	氏名
最優秀賞	県中	大橋 仁知子さん

平成30年度ひまわりコンクール入賞者

# ひまわりコンクール優秀作品集



畜舎環境の部 最優秀賞  
福田 祐子さん (県中)



畜舎環境の部 ひまわり賞  
遠藤 洋子さん (県中)





一般花壇の部 最優秀賞  
佐藤 恵美さん (県中)



一般花壇の部 ひまわり賞  
橋本 節子さん (県中)



酪農生活の部 最優秀賞  
題名「いっぱいあるから、ゆっくり食べてネ！」  
大橋 仁知子さん (県中)

# 福島県酪農青年研究連盟 主催 第3回酪農後継者支援研修会



平成三十一年一月八日(火)に酪青連第三回後継者支援研修会が、磐梯熱海温泉ホテル華の湯にて行われました。



森先生



斎藤会長

森先生  
の理解しているつもりであった基礎を改めて解説くださり、改め

た。総勢四十一名が参加し、「酪農経営・酪農協における消費税の軽減税率制度の影響」という題でアグリビジネス・ソリューションズ株式会社代表 森剛一先生にご講演をいただきました。講演は多数の質問や意見交換等が飛び交い、充実した研修会となりました。講演はまず消費税の仕組み、インボイス制度、軽減税率が導入されてどういった変化が身近や経営に起きるのかを丁寧に解説くださいました。金箔は軽減税率の対象か否か(答…食用添加物であるため軽減税率対象)や、飼料米や稲WC Sは軽減税率か否か(答…人の食用ではないため標準税率対象)等のクイズを交えながら、税制改定の理解しているつもりであった基礎を改めて解説くださり、改め

て知識を深めることができました。軽減税率の導入で、酪農家は生乳の消費税は現行通り八%であるのに対し、飼料は一〇%になるため間違いなく資金繰りは悪化するであろうことを森先生はご指摘されていました。ほかにも影響を受けるのが肉畜販売の精算書であり、枝肉や内臓は消費税八%であるのに対し、原皮は一〇%標準税率であり、一つの取引に複数の税率がかかるため、消費税集計時の酪農家の仕訳作業にひと手間の負担が加わるようになります。また、軽減税率制度の実施により現行の簡易課税制度のみなし仕入れ率を農林水産業(食用)は八〇%、農林水産業(非食用)は七〇%と二段階に分けることとなりました。仕入れ税額が過少に算出されないための措置ですが、簡易課税を選択されている方も集計作業にひと手間加わる事になります。続いてインボイス制度が二〇二三年十月より導入されることによつ

て、課税事業者はインボイス（納品・請求書）を発行するために登録番号を取得する必要がある、二〇二一年十月一日から始まる申請手続きを忘れずに行うようにとのことでした。法人の方は法人番号を登録番号として使用することになるのですが、こちらも改めて申請手続きが必要になるとのことです。ですのでお忘れのないようご注意くださいとのことでした。また、インボイスを発行することのできない免税事業者については、枝肉と生乳販売におけるインボイス交付義務は免除されるので心配はいらなとのことでした。しかし、个体販売については買い手へのインボイス発行の義務があるとのことなので、値段に反映され不利益を被る可能性がある事をご指摘されました。



最後に酪農家、酪農組合は今回の税制改定によって最も苦勞する業種だとおっしゃられておりました。目の前に迫る税制改定に向け、DMSシステムを中心としたパソコン簿記の利用を勧めるとともに、勉強できることや準備できるものは怠らないでおきましょうとのことでした。

# 平成30年度 県中支所組合員研修会 開催される

「やるきが湧く経営計画の作り方」  
～気持ちよく二〇一九を迎える方法～

平成三十年十一月二十日(火)十一時より、桜の里三春町馬場の湯「若松屋旅館」に於いて、標記の組合員全体研修会を開催致しました。

講師は全酪連企画管理総合企画室長丹戸靖氏をお迎えし、「やるきが湧く経営計画の作り方」～気持ちよく二〇一九を迎える方法～と題しまして講演頂きまして、また、来年改正される消費税引き上げに伴う軽減

税率制度に関する件につきましても講演願いました。

丹戸先生に於かれましては、全国各地での講演等の忙しい中での講師を引き受けて頂き大変感謝しているところであります、福島県での先生との関わりについては、DMSでの税務指導、また、規模拡大等のご支援、これらは全国の酪農組合、酪農家に対しての実際の活動・実績を

真剣に聞き入り、一時間三十分余りの講演があつという間に終了してしまいました、消費税の問題は日頃の整理が大変重要であると話されました、来年の制度開始に備える事の重要さが入り口ではありますが理解した次第です、丹戸先生誠にありがとうございました。

さて、この組合員全体研修会については、宗像組合長が運営委員長になられた時からの希望でした、年度当初の支部活動費の配分時において、運営委員会にてころよく了解され予算付けがされ、この日の実施となりました。

積みまれており、今回は実務に裏打ちされた講演の内容には、組合員の皆様

今回の参加については、組合員三十二名の参加がありました、会津から田村地域・いわきの一部までの広範囲の県中支所が一同に介しての

研修会は一定の評価が出来る意義のある事だったと認識しております、来年・再来年と継続的に実施出来る様、役員の皆様と頑張り企画したいと思います。

県中支所長 原田





## 全酪連の小窓 2月号 ～リニューアル配合の紹介～



2019年最初の小窓となります。本年もお付き合いよろしくお願いたします。寒さが最も厳しい時期ですので牛の体調に留意しつつ、みなさまも風邪等には十分注意しましょう。

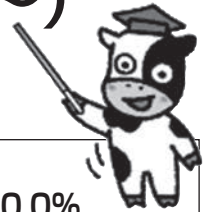
今回は2月よりリニューアルしました配合についてご紹介いたします。

### 〇ハイミックスブレンド (H31年2月～)

#### 製品特長



- ・成分値 現行：CP18.0%、TDN70.0%  
→CP18.0%、TDN71.0%
- ・ヘイキューブ処方量を見直しより給与しやすい形へ！
- ・デントコーンの分析値を加味し、TDN（デンプン等）を強化！！



#### ポイント

- ・変更については利用者の皆様からの声も反映させ、より使いやすい配合飼料となるよう処方内容の調整を行いました。
- ・変更についての問い合わせやご相談は、各支所、各指導所、全酪連福島スタッフまでご相談ください。

ZENRAKUREN



## ZENOAQ コーナー Vol.170



## ～冬期間の子牛の 管理についての注意点～

〒963-0196

福島県郡山市安積町笹川字平の上1-1

日本全薬工業(株) 福島営業所

TEL024-945-2306 FAX024-945-9345

子牛にとって、冬期間や季節の変わり目には下痢などの消化器病とともに肺炎などの呼吸器病も多くなります。

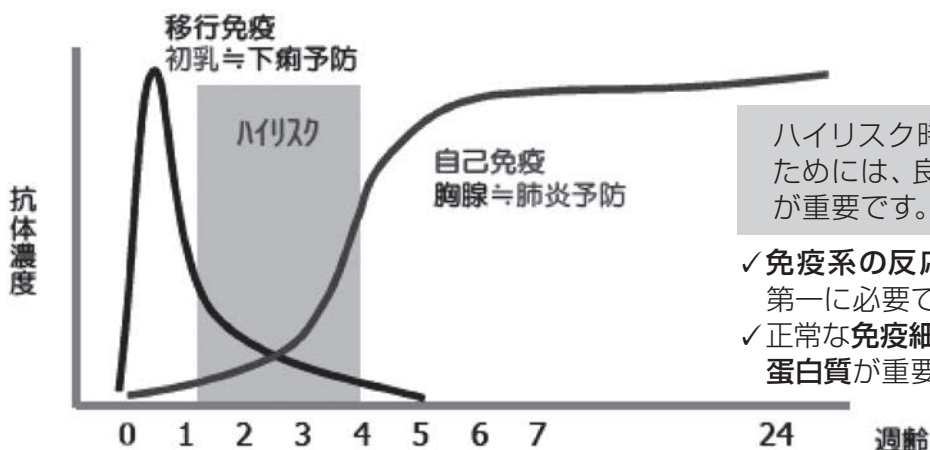
これらの疾病の主な原因は、①飼育環境の急変や悪化、②初乳摂取不足などの生理的ストレスが大きく影響し、子牛の抵抗力（免疫力）が低下した時に、③ウイルス、細菌あるいは真菌などの病原体の感染により発症します。

### ■ 子牛のエネルギーは足りていますか？

気温が低下し、特に風が吹き込む環境では子牛の体温維持に要するエネルギーは予想以上に大きいのです。通常のエネルギー量しか与えていなければ、不足するエネルギーは体脂肪で補われます。エネルギー不足が続くと体重が減少し、元気がなくなり、食欲もなくなり、最終的には死に至ってしまいます。

通常の子牛の代用乳給与プログラムではエネルギーが不足する可能性があります。自然哺乳の子牛は体重の25%のミルクを1日6～8回に分けて飲むため発育が早いのですが、人工哺乳では1日2回の給与回数で体重の25%（12.5kg）のミルクを摂取させると下痢をしたり、摂取できないことがあるため、1回あたりの摂取量を体重の5%（2.5L）に制限し、1日2回の給与で体重の10%（5L）のミルクを摂取するプログラムになっています。

そのため、子牛はおなかがすき、早めにスターターを食べ始め、ルーメンの発育を促し早期離乳を可能にすると言われていています。しかし、このプログラムの欠点はスターターを給与し食べ始めるまでの生後1～2週間の間でエネルギーの不足が起きているため（寒冷時、体温維持のためのエネルギーが不足することにより）免疫力が低下し各疾病のリスクを高めている可能性が示唆されております。

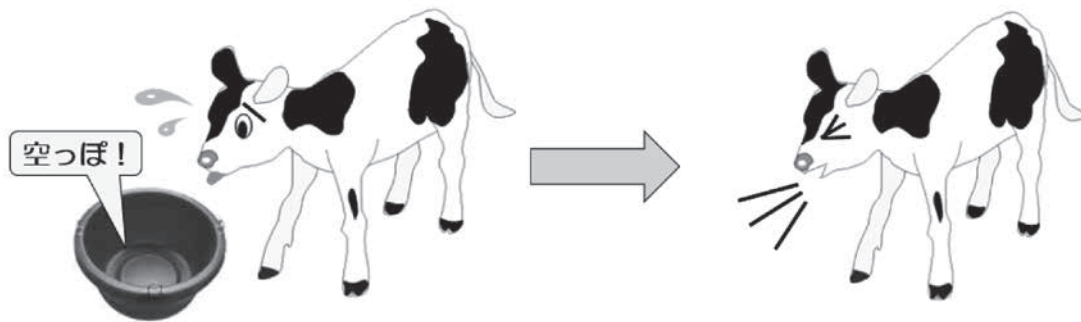


ハイリスク時期を上手く乗り越えるためには、良質な初乳とミルクの量が重要です。

- ✓免疫系の反応には、エネルギーが第一に必要である
- ✓正常な免疫細胞の増殖と機能には、蛋白質が重要である

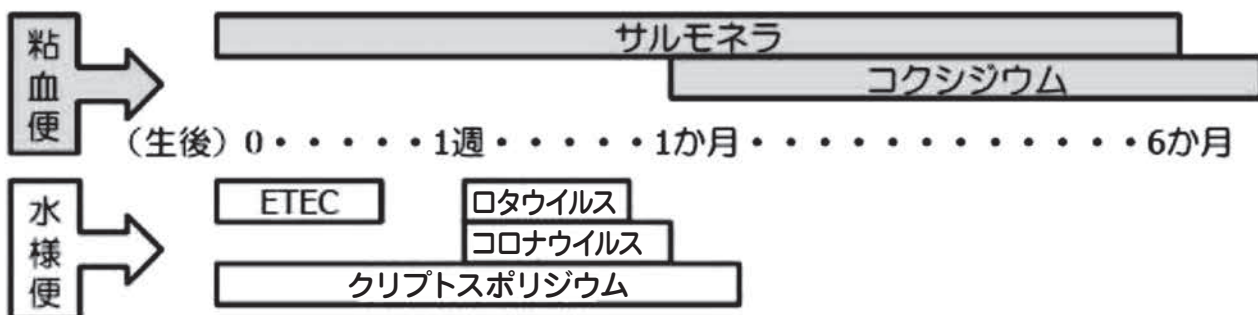


## 栄養は免疫アップに繋がります



不十分な栄養状態では子牛の免疫機能が十分に発揮されません。  
子牛の免疫機能が十分に機能できるように、十分な栄養を給与してあげましょう！

### 【病原体別の下痢発症時期】



★上記のミルク量を給与していただいた牧場では下痢・肺炎の発生率が激減し、奥さんのストレスも軽減され楽しい酪農が行われております。

事故を防ごうと思ってやったことが、逆に問題を大きくすると言うことがよくあります。子牛の下痢を防ぐために子牛を暖め、かつ敷料を乾燥させようとしてヒータを設置したところ、かえってそれがサルモネラの温床となり、生まれた子牛がすべてサルモネラに感染してしまった事例もあります。

子牛の世界は下痢を引き起こす菌によって体が塗られていくようなもので、免疫力をいかに菌のレベルよりも高く保つかが重要となります。よって、ポイントはいかに免疫力を高く保ち、菌のレベルを低く抑えるかということにつきます。



乳牛頭数調査集計表（公共機関を含む）

2018年12月31日現在

区 分	酪農家戸数			乳 牛 頭 数										
	支 所 名 称	戸数 (避難戸数)	前年度 戸 数	前年比	育成	初妊	経 産 牛				合計	前年度 頭 数	前年比	1 戸当 り頭数
							乾乳 妊娠	妊娠 搾乳	空胎 搾乳	小計				
県 北 支 所	(7)40	41	97.6	%	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	%	頭
県 中 支 所	81	84	96.4		534	111	167	295	1,076	1,538	2,183	2,151	101.5	54.6
浜 支 所	(34)10	10	100.0		342	105	184	345	965	1,494	1,941	1,992	97.4	24.0
県 南 支 所	44	49	89.8		91	35	11	57	136	204	330	336	98.2	33.0
JAふくしま未来(飯館)	(11)0	0	0.0		629	251	281	566	1,038	1,885	2,765	2,914	94.9	62.8
県 酪 合 計	(52)175	184	95.1		1,596	502	643	1,263	3,215	5,121	7,219	7,393	97.6	41.3

区 分	月 別 分 娩 予 定 頭 数						販 売 乳 量					
	支 所 名 称	2019 1月	2019 2月	2019 3月	2019 4月	2019 5月	2019 6月	生乳 出荷 戸数	地域別販売乳量		1日1頭当り乳量	
									1日当り	1日1戸 当り	搾乳牛	経産牛
県 北 支 所	頭	105	91	71	64	75	167	戸	kg	kg	kg	kg
県 中 支 所		105	96	104	73	68	73	81	35,708	940	26.0	23.2
浜 支 所		20	9	14	8	18	16	8	32,178	397	24.6	21.5
県 南 支 所		142	143	145	139	125	136	44	5,323	665	27.6	26.1
JAふくしま未来(飯館)		0	0	0	0	0	0	0	42,055	956	26.2	22.3
県 酪 合 計		372	339	334	284	286	392	171	115,264	674	25.7	22.5

平成30年度受託乳量の状況

平成30年12月の受託乳量は、県全体で前年比93.0%の実績でありました。

団体別の受託乳量は、本組合が3,572ト、前年比94.1%（対前年同月225ト減）、全農県本部は1,719トの対前年比90.9%（対前年同月171ト減）の実績でありました。東北生乳販連の受託実績については、

前年比98.3%となりました。

東北6県の中で青森県が5,802ト、対前年比106.5%、山形県が5,012ト、前年比102.0%で前年より伸びました。

なお、全国の受託実績は対前年比99.6%となりました。

平成30年度用途別販売乳量の状況（東北全体）

12月東北全体の用途別販売状況については、加工向けが106.2%と前年を上回り、飲用向けが98.9%、学乳向けが93.3%、醗酵乳向けが92.3%、生クリーム向けが前年比96.0%、チーズ向けが90.3%と前年

を下回り推移した。

なお、今月の酪王乳業の生乳使用量は日量平均46.2ト（前年比98.2%）で、本組合生産量の40.1%、県全体生産量の27.1%を処理しています。

平成30年度12月別支払乳価表

12月分支払乳価については、前年と比べ、飲用向け及び醗酵乳向け・加工向け・生クリーム等向け価格は据え置き、チーズ（ハード）向け4円、チーズ（ソフト）向け5円値上げで取引され、前年対比でプール乳価、補給金、集送乳調整金単価合せて前年より0円026銭上回る単価となりました。

■東北全体プール乳代金 4,316,763千円 単価104.941円  
 ■内 福島県分プール乳代金① 500,442千円 単価104.941円  
 プール対象外乳代金② 77,350千円  
 （学乳向け・買取向け乳代金）  
 合計乳代金①+② 577,792千円 単価109.197円

項目	30年12月	前年同月	増減	前々年同月
プール乳価	103円264	103円331	-0円067	103円550
補給金単価	1円265	1円545	-0円280	1円371
集送乳調整金単価	0円373	0	0円373	0
合計	104円902	104円876	0円026	104円921

(注)上記合計は、脂肪率3.5%・無脂固形率8.3%の補給金込みの乳価。

平成30年4月より加工原料乳(加工・生クリーム・チーズ向)に対し、補給金と集送乳調整金の2つに分け支払いをしています。

(東北全体12月)

用途別	販売乳量(トン)	日量(トン)	前年比(%)	シェア(%)
飲用向け	28,667	925.0	98.9	66.3
加工向け	5,119	165.0	106.2	11.8
学校給食向け	2,093	68.0	93.3	4.8
醗酵乳向け	5,826	188.0	92.3	13.5
生クリーム向け	1,340	43.0	96.0	3.1
チーズ向け	183	6.0	90.3	0.4
合計	43,228	1,395.0	98.3	100.0

備考

1) 買取乳量を除く

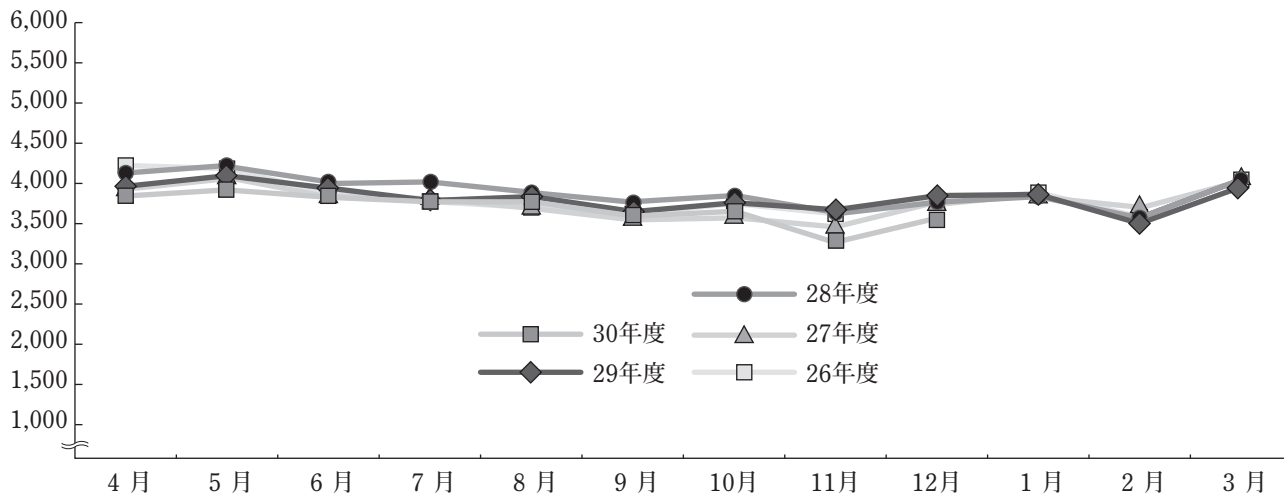
団体別受託乳量の状況

団体名	12月分		
	受託乳量(トン)	日量(トン)	前年比(%)
県酪協	3,572	115.2	94.1
全農福島県本部	1,719	55.5	90.9
合計	5,291	170.7	93.0
東北生乳販連	43,228	1,394.5	98.3
全 国	580,174	18,715.3	99.6

月別受託乳量 県酪協 (トン)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
26年度	4,148	4,185	3,879	3,775	3,703	3,621	3,749	3,620	3,781	3,886	3,577	4,035	45,959
27年度	3,921	4,061	3,836	3,802	3,658	3,513	3,575	3,486	3,668	3,830	3,708	4,071	45,129
28年度	4,094	4,231	4,025	4,029	3,894	3,717	3,839	3,664	3,822	3,889	3,576	4,031	46,811
29年度	3,958	4,132	3,940	3,880	3,778	3,622	3,740	3,637	3,797	3,820	3,498	3,948	45,750
30年度	3,865	3,927	3,768	3,758	3,757	3,565	3,617	3,385	3,572				
前年比%	97.7	95.0	95.6	96.9	99.4	98.4	96.7	93.1	94.1				

単位・トン



年次別・月別支払乳価一覧（補給金・集送乳調整金を含む）

年 度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均
30年度	105.316	106.566	107.245	106.734	104.684	108.041	107.673	107.183	104.902				
29年度	105.107	106.247	107.367	106.918	104.637	107.789	107.187	107.002	104.876	105.603	106.317	104.647	106.141
28年度	105.156	106.012	106.878	105.825	104.876	107.459	107.162	106.517	104.921	105.823	106.675	104.617	105.993
27年度	105.116	105.882	106.888	105.964	105.240	107.090	107.342	106.859	105.204	105.468	106.726	104.446	106.019
26年度	100.739	102.193	103.829	102.826	101.978	104.278	104.043	104.000	102.000	102.606	103.222	101.321	102.753

## 第279回 県酪協乳牛市場成績

平成31年 1月11日開催

購買者数 20名（うち県外 8名）

区分	畜種	雌雄	成立数 (成立率)	最高価格 最低価格	平均価格 (前回比)	平均体重 (前回比)	平均単価 (前回比)
ET和牛 初生牛	ET和牛	メス	4 (100)	463,000 429,000	447,500 (107)	111 (109)	4,050 (99)
		雄	13 (100)	665,000 411,000	564,923 (98)	107 (99)	5,257 (99)
	乳 牛	メス	2 (100)	19,000 1,000	10,000 (26)	58 (87)	174 (30)
		雄	74 (94)	160,000 1,000	88,176 (68)	71 (96)	1,244 (71)
	交雑牛	メス	59 (96)	290,000 36,000	225,542 (95)	70 (96)	3,239 (100)
		雄	67 (100)	392,000 110,000	297,896 (94)	77 (99)	3,883 (109)

価格：円（落札価格） 率・比：％ 体重：kg

初生牛の畜種毎価格帯別分布表 （0は0.1～0.9万円、1は1.0～1.9万円、以下同様。尚、落札価格です。）

畜種	雌雄	価 格 帯 (万円)																											
		41	42	~	46	47	48	49	50	~	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69		
ET和牛	メス		1	2	1																								
	雄	1	1		1		1			1		1	1							2				1	3				
乳 牛	雌雄	価 格 帯 (万円)																											
		0	<1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24		
乳 牛	メス		1	1																									
	雄		4	8	3	2	2	3	3	4	2	5	5	2	8	10	10	2	1										
交雑牛	雌雄	価 格 帯 (万円)																											
		<10	11	~	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39		
交雑牛	メス	1		7	4		2	2	4	4	4	9	5	13	2	1	1												
	雄		1	2			3				2		3	1	5	4	6	12	8	3	4	1	5	3	2	1	1		

## 組合の動き 1月

1月11日	セリ市場	1月28日	J Aグループ東京電力原発事故農畜産物
1月22日	第8回理事会		損害賠償対策福島県協議会役員会・総会
1月23日	酪王乳業(株)取締役会	1月29日	全酪連理事会
1月24日	農林年金連絡協議会構成団体会議	1月29日	東北酪農青年女性会議役員会
1月24日	全国畜産配合飼料価格安定基金協会理事	1月30日	福島県農業振興公社理事会
	事会	1月30日	第10回経営検討会

## 理 事 会

## 第8回 1月22日

## 議 案

- 議案第1号 出張並びに旅費規程の一部変更について  
 議案第2号 役員との貸付契約について

## 報告事項

- 1) 畜産環境整備機構リース貸付申請報告について
- 2) (株)フェリスラテの第5期決算報告について
- 3) 乳価交渉状況について
- 4) 役員賠償責任保険の更新について
- 5) 復興牧場の進捗状況について
- 6) 今後の日程について

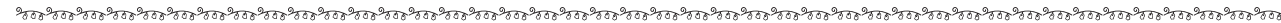


# 平成30年度 牛乳・乳製品利用料理コンクール 福島県大会入賞レシピ



あさか開成高等学校  
池田 綾乃さんの作品

チーズたっぷり いかになじんチヂミ



## ●●● 材 料 ●●●

(材料:4人分)

- ・ニラ ..... 200g
- ・片栗粉 ..... 80g
- ・いかにんじん ..... 120g
- ・鶏がらスープの素
- ・とろけるチーズ ..... 160g
- ..... 小さじ2
- 【チヂミのタネ】
- ・牛乳 ..... 200ml
- ・玉ねぎ ..... 1個
- ・ごま油 ..... 大さじ4
- ・小麦粉 ..... 100g

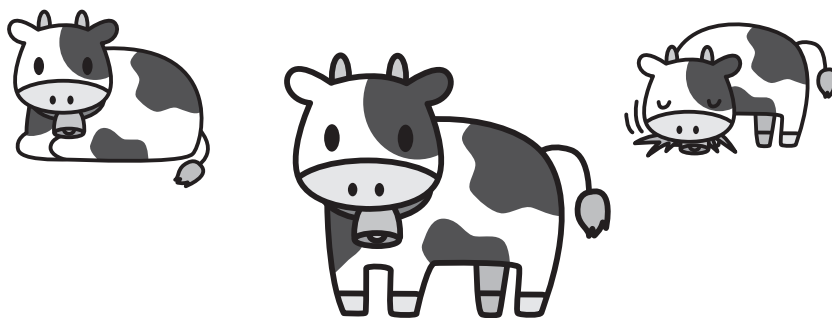
### ●作り方

- ① ニラは4cmの長さに切る。
- ② ボウルに玉ねぎをすりおろし、チヂミのタネの材料を入れて、よく混ぜる。
- ③ フライパンにごま油を入れニラを軽く炒める。
- ④ ニラが少ししんなりしてきたら②のチヂミのタネを薄く広げ、上にとろけるチーズをのせて焼く。
- ⑤ 3分ほどたったら裏に返し、周りにごま油を入れる。

- ⑥ 3分ほど焼き表に返し、食べやすい大きさにきる。
- ⑦ 皿に盛りつける。

### ポイント

福島県名産のいかにんじんを使ったチヂミです。牛乳とチーズという乳製品を使うことによって、子供でも大人でも楽しめるカルシウムup料理にしました。



### 『ほっとMilk』投稿募集について

1. テーマは自由（ほっと(^o^)/する話題がいいですね）  
◎文章だけでも結構です。  
◎写真があると最高です。
2. 受付（常時受け付けしています）  
メール・FAX・支所経由・直接持参、何でもOKです。  
E-mail : [yuuki-saitou@fukuraku.or.jp](mailto:yuuki-saitou@fukuraku.or.jp)・FAX0243-33-1103

発行者 福島県酪農業協同組合 発行責任者 常務理事 岡 正宏

〒969-1103 福島県本宮市仁井田字一里塚17番地 TEL 0243-33-1101 FAX 0243-33-1103 URL <http://www.milk.fukushima.jp>